

# 青森市における 2023 年度の温室効果ガス排出量について

## < 目 次 >

1 概要 .....	1
1.1 総排出量の推移 .....	1
1.2 温室効果ガスの種類別排出量 .....	2
1.3 1人当たり排出量 .....	2
2 部門別排出量 .....	3
2.1 産業部門 .....	4
2.2 業務その他部門 .....	5
2.3 家庭部門 .....	6
2.4 運輸部門 .....	7
2.5 廃棄物部門 .....	8
2.6 その他の温室効果ガス .....	9

※ 本資料の数値は、端数処理をしているため合計等が一致しない場合があります。

2026（令和8）年3月  
青森市環境部環境政策課

# 1 概要

## 1.1 総排出量の推移

- ▷ 青森市の温室効果ガス排出量は、概ね減少傾向にあります。
- ▷ 2023（令和 5）年度の排出量は 2,029 千 t-CO<sub>2</sub> であり、基準年度である 2013（平成 25）年度比では 888 千 t-CO<sub>2</sub>（30.4%）減少しています。
- ▷ 部門別構成比については、家庭部門及び運輸部門がそれぞれ 3 割程度、業務その他部門が 2 割程度を占めており、これら 3 部門における排出量が青森市全体の約 8 割を占めています。

（単位：千 t-CO<sub>2</sub>）

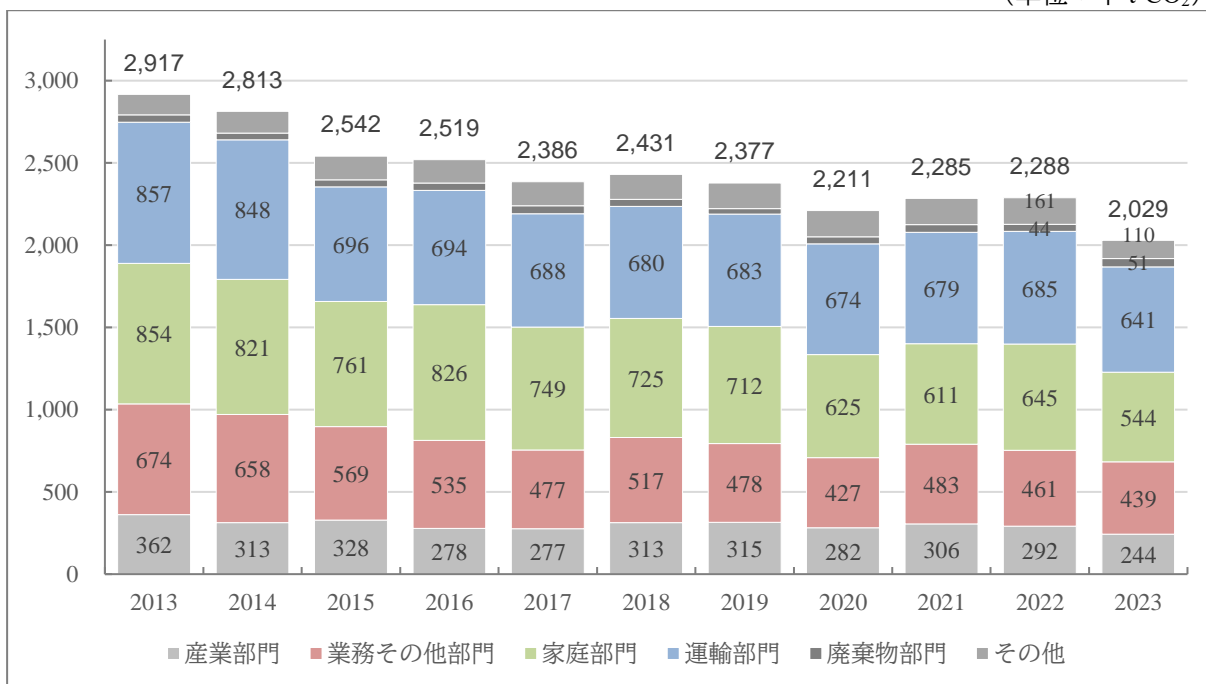


図 1 温室効果ガス排出量の推移

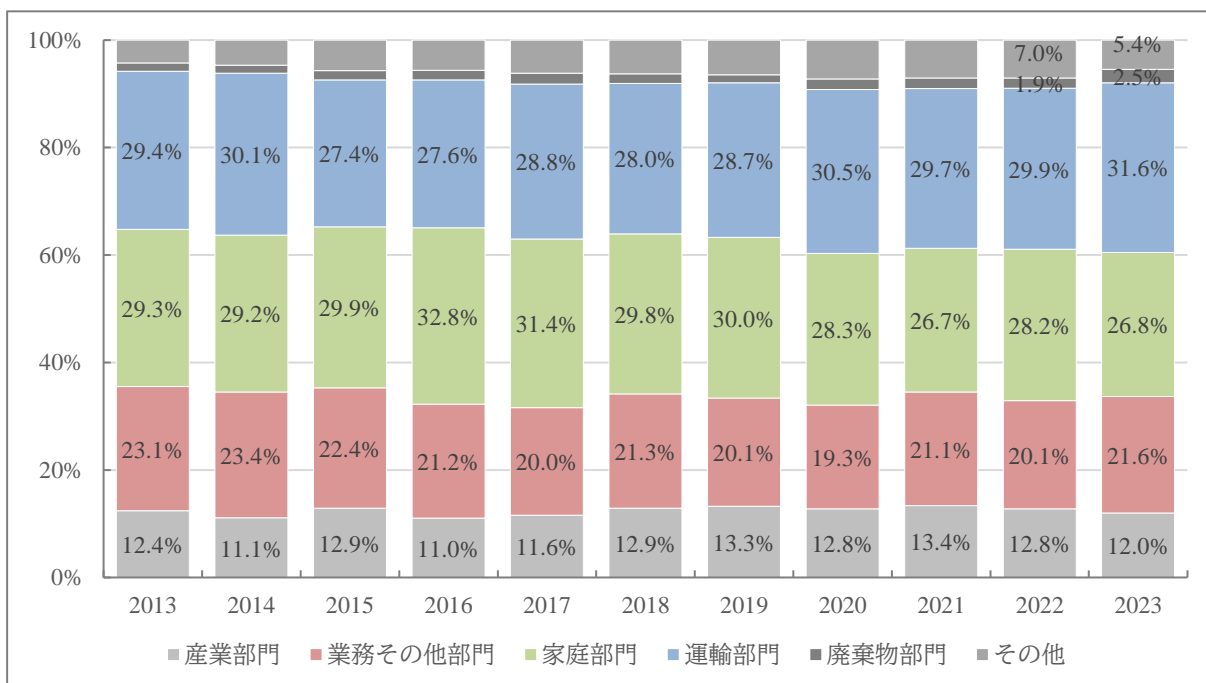


図 2 温室効果ガス排出量部門別構成比の推移

## 1.2 温室効果ガスの種類別排出量

▷ 青森市の温室効果ガス排出量のうち、9割以上を二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)が占めています。

(単位：千 t-CO<sub>2</sub>)

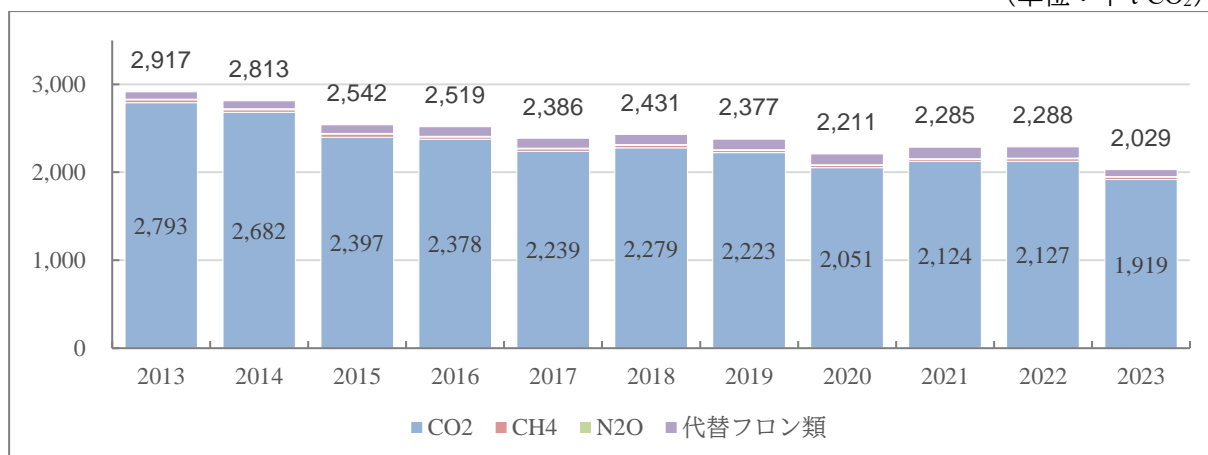


図 3 温室効果ガスの種類別排出量の推移

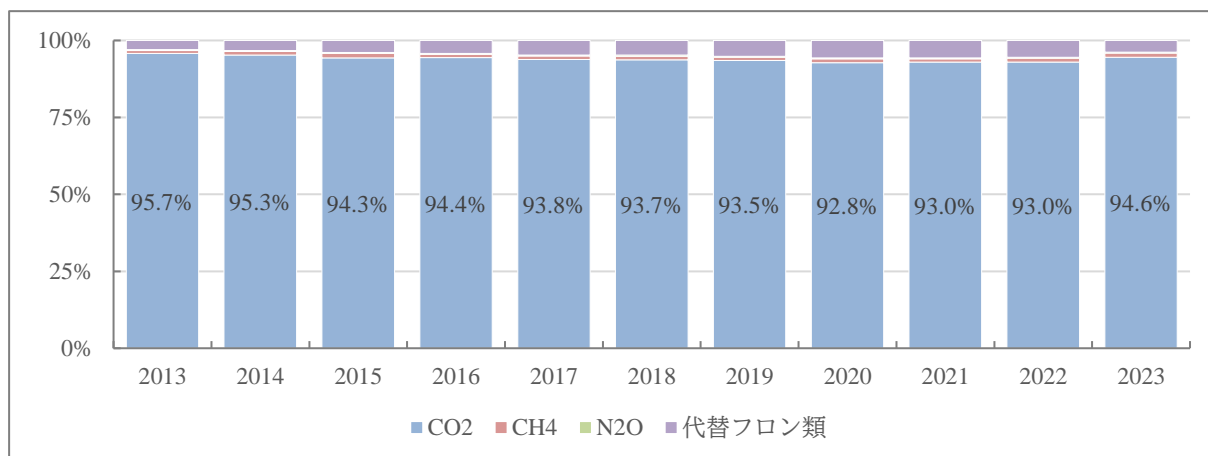


図 4 温室効果ガスの種類別排出量構成比の推移

## 1.3 1人当たり排出量

▷ 温室効果ガスの1人当たり排出量は、全国・青森県・青森市ともに減少傾向であり、青森市の排出量は全国平均を下回っています。

(単位：t-CO<sub>2</sub>)

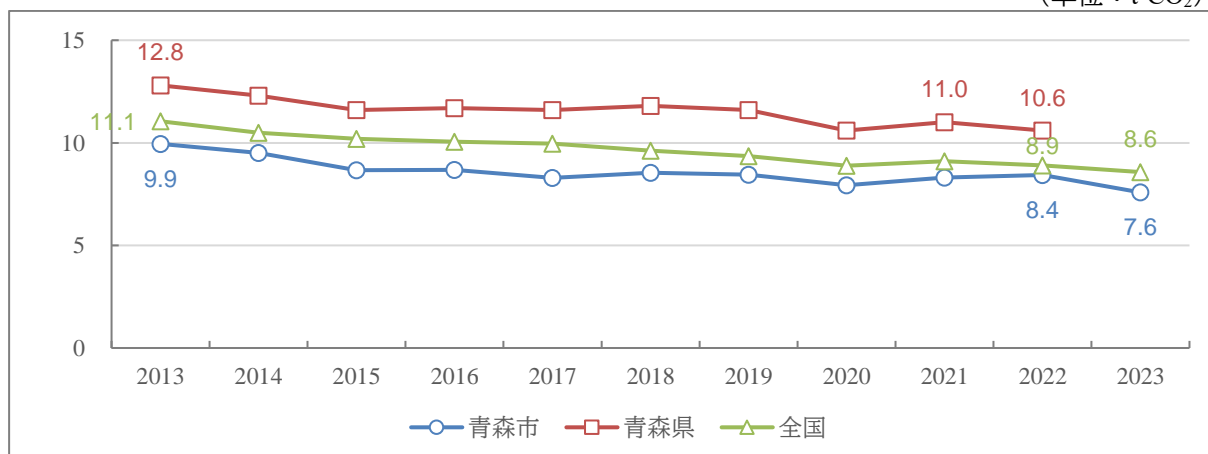


図 5 温室効果ガスの1人当たり排出量の推移

## 2 部門別排出量

表 1 温室効果ガスの部門別内訳

(単位：千 t-CO<sub>2</sub>)

	基準年度 2013(H25)年度	最新年度 2023(R5)年度	増減率
産業部門	362	244	△ 32.6%
製造業	310	198	△ 36.1%
建設・鉱業	34	25	△ 26.5%
農林水産業	18	21	16.7%
業務その他部門	674	439	△ 34.9%
家庭部門	854	544	△ 36.3%
運輸部門	857	641	△ 25.2%
自動車	680	468	△ 31.2%
鉄道	23	15	△ 34.8%
船舶	154	158	2.6%
廃棄物部門	46	51	10.9%
その他温室効果ガス	124	110	△ 11.3%
メタン	30	27	△ 10.0%
一酸化二窒素	9	6	△ 33.3%
代替フロン類	85	77	△ 9.4%
合計	2,917	2,029	△ 30.4%

### 【部門別排出量の定義】

産業部門 製造業、建設業、農林水産業におけるエネルギー消費に伴う排出。

業務その他部門 事務所・ビル、商業・サービス施設のほか、他のいずれの部門にも帰属しないエネルギー消費に伴う排出。

家庭部門 家庭におけるエネルギー消費に伴う排出。  
(自家用自動車からの排出は、運輸部門に計上)

運輸部門 自動車、鉄道、船舶におけるエネルギー消費に伴う排出。

廃棄物部門 廃棄物の焼却処分処理に伴い発生する排出。

その他の温室効果ガス 二酸化炭素以外の温室効果ガス（メタン、一酸化二窒素、代替フロン類）からの排出。

## 2.1 産業部門

- ▷ 2023（令和 5）年度の温室効果ガス排出量は 244 千 t-CO<sub>2</sub> であり、基準年度である 2013（平成 25）年度比では 118 千 t-CO<sub>2</sub>（32.6%）減少しています。
- ▷ 産業部門排出量の約 8 割を占める製造業は、年度間の増減がみられるものの減少傾向で推移しています。  
また、建設業・鉱業、農林水産業は、概ね横ばいで推移しています。

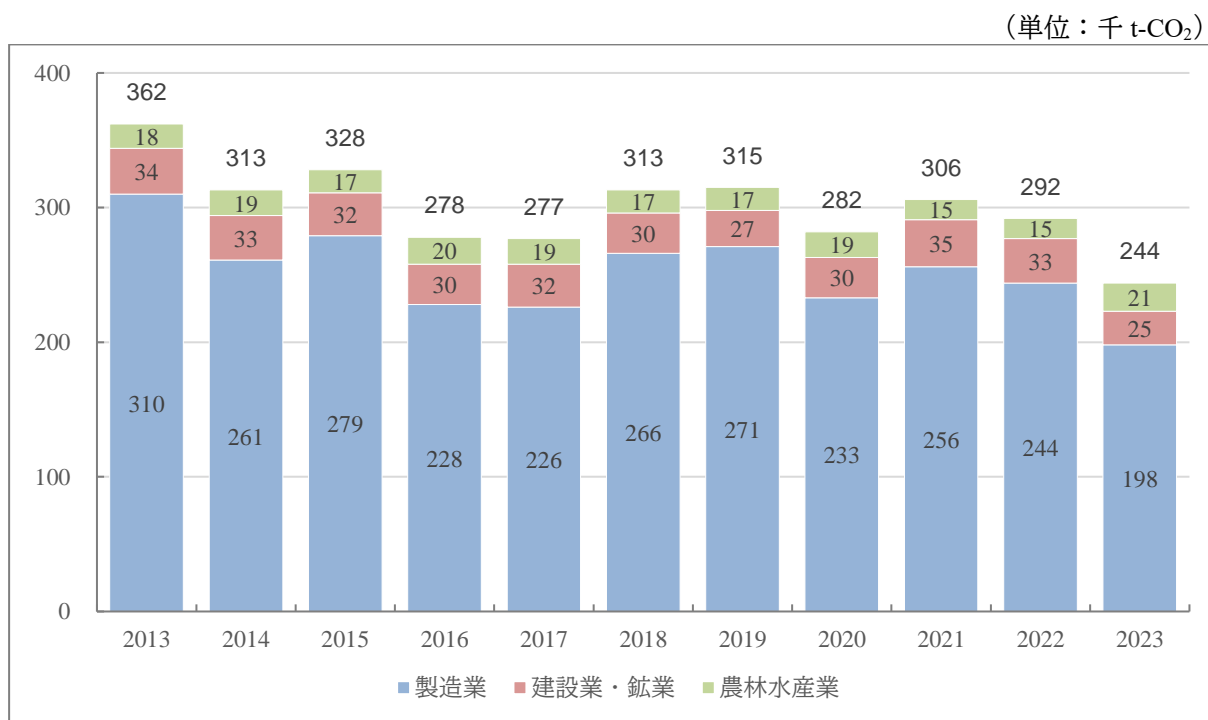


図 6 産業部門の温室効果ガス排出量の推移

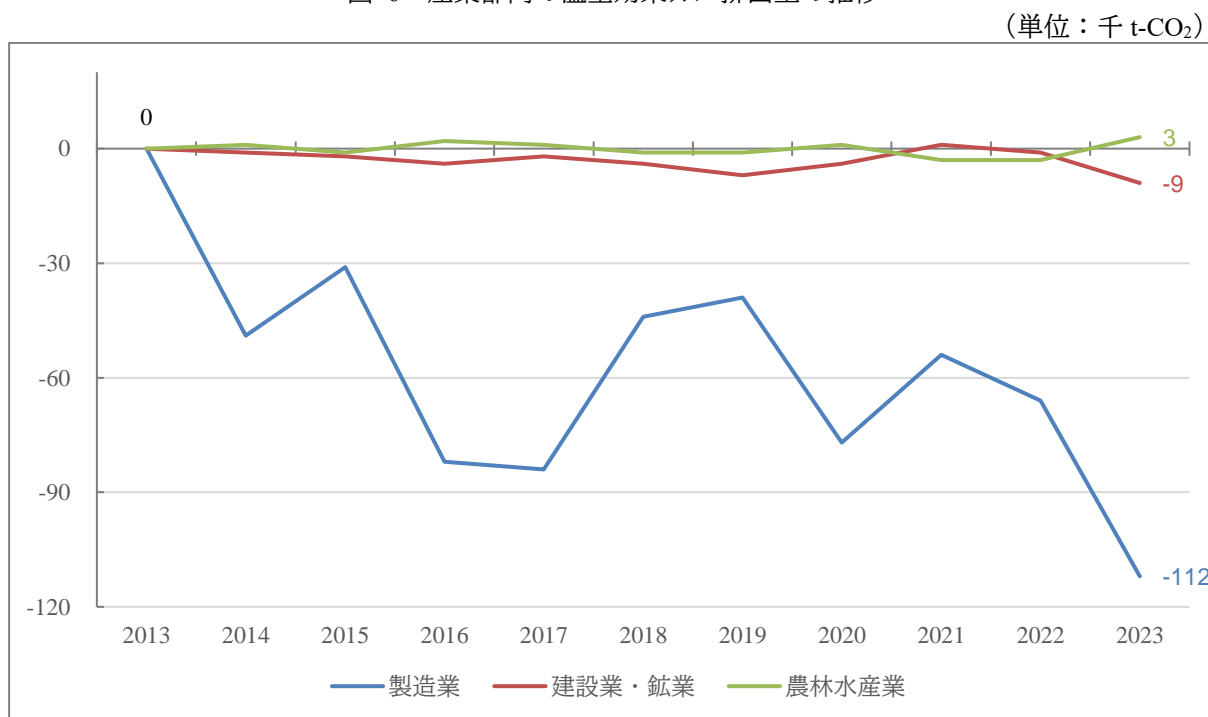


図 7 産業部門の温室効果ガス排出量の増減（2013 年基準）

## 2.2 業務その他部門

- ▷ 2023（令和 5）年度の温室効果ガス排出量は 439 千 t-CO<sub>2</sub> であり、基準年度である 2013（平成 25）年度比では 235 千 t-CO<sub>2</sub>（34.9%）減少しています。
- ▷ 年度間の増減がみられるものの減少傾向で推移しています。

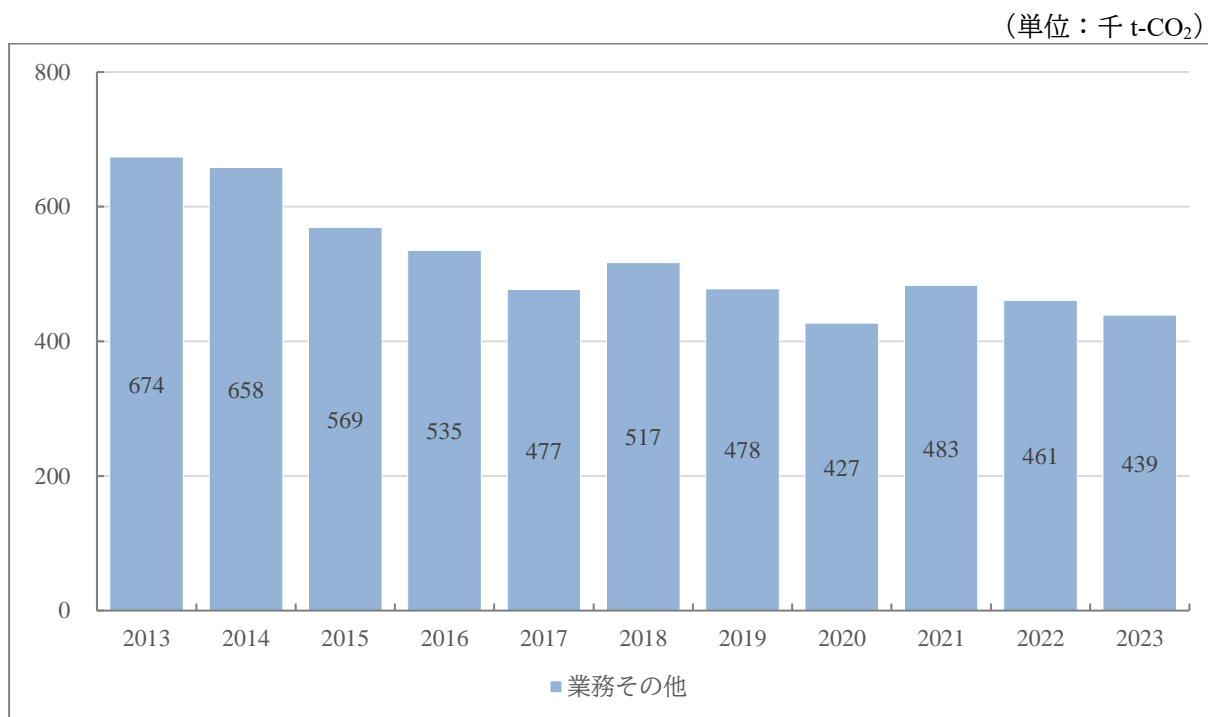


図 8 業務その他部門の温室効果ガス排出量の推移

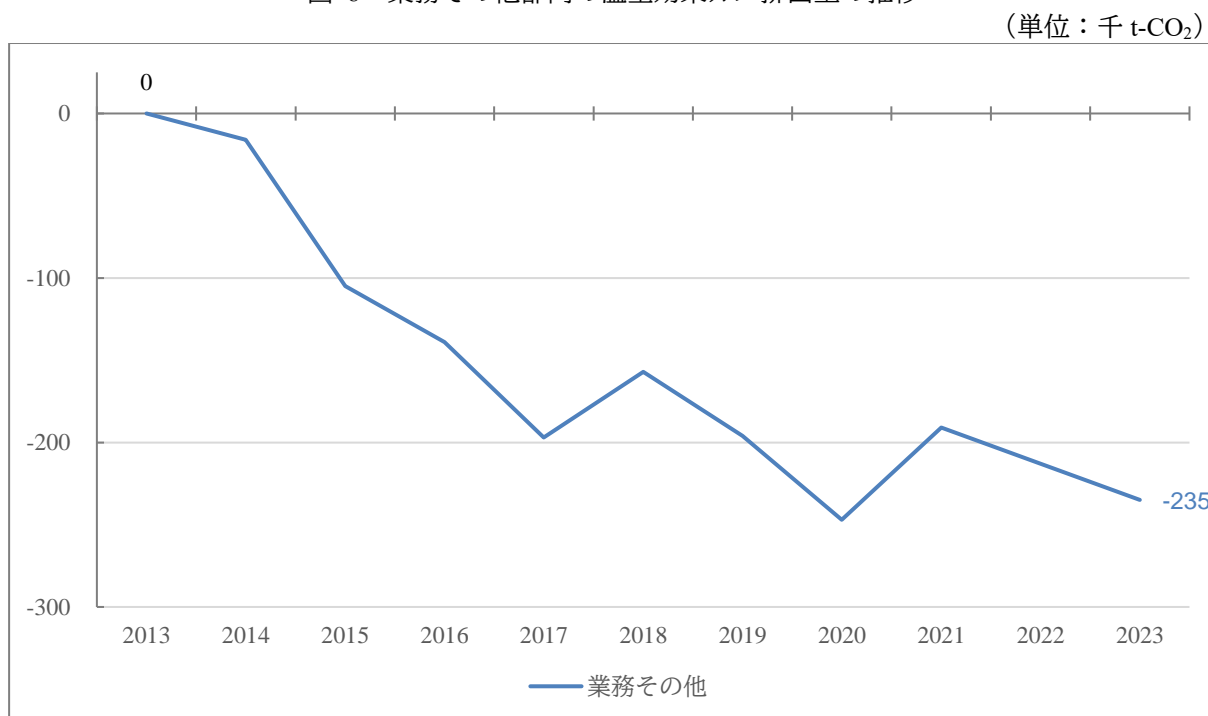


図 9 業務その他部門の温室効果ガス排出量の増減（2013 年基準）

### 2.3 家庭部門

- ▷ 2023（令和 5）年度の温室効果ガス排出量は 544 千 t-CO<sub>2</sub> であり、基準年度である 2013（平成 25）年度比では 310 千 t-CO<sub>2</sub>（36.3%）減少しています。
- ▷ 年度間の増減がみられるものの減少傾向で推移しています。

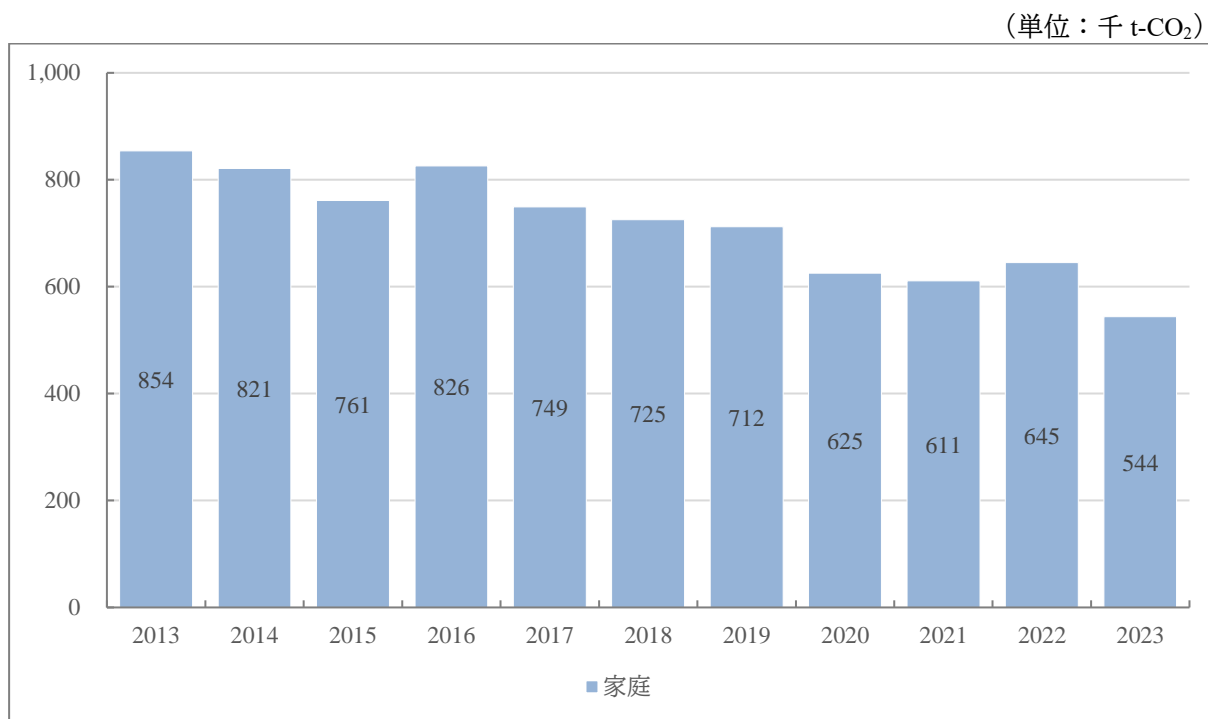


図 10 家庭部門の温室効果ガス排出量の推移

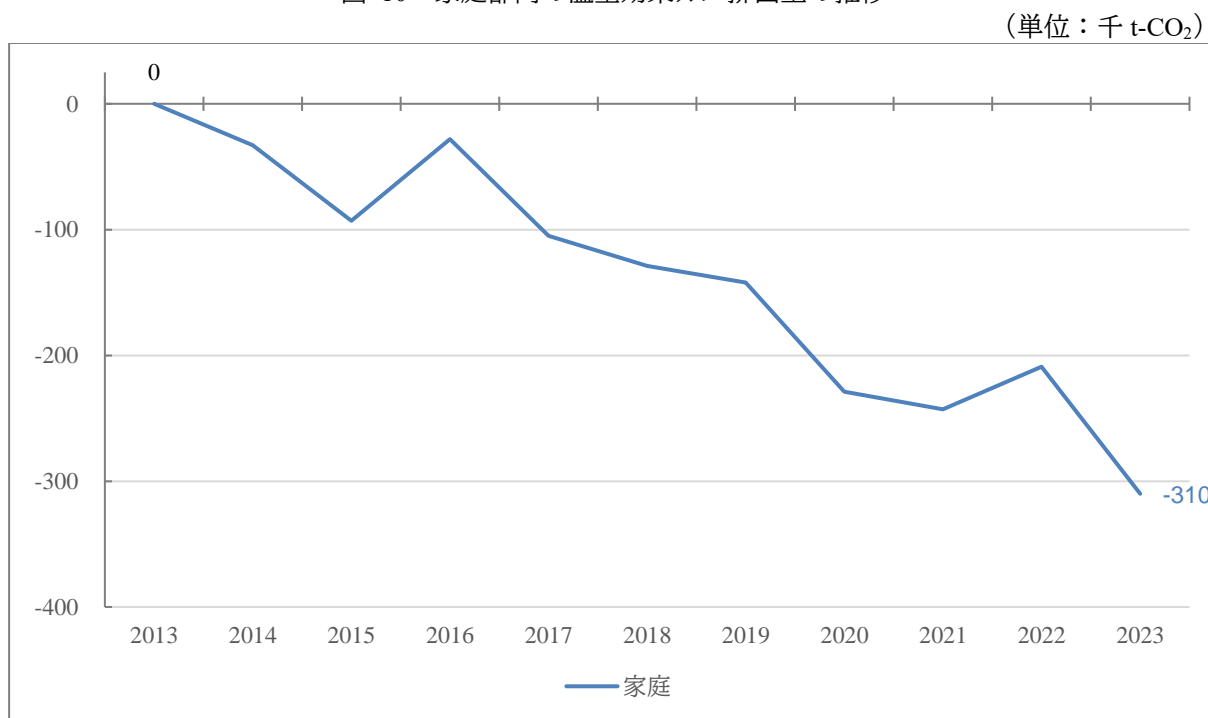


図 11 家庭部門の温室効果ガス排出量の増減（2013 年基準）

## 2.4 運輸部門

- ▷ 2023（令和 5）年度の温室効果ガス排出量は 641 千 t-CO<sub>2</sub> であり、基準年度である 2013（平成 25）年度比では 216 千 t-CO<sub>2</sub>（25.2%）減少しています。
- ▷ 運輸部門排出量の 7 割以上を占める自動車は、減少傾向で推移しています。また、鉄道、船舶は、概ね横ばいで推移しています。

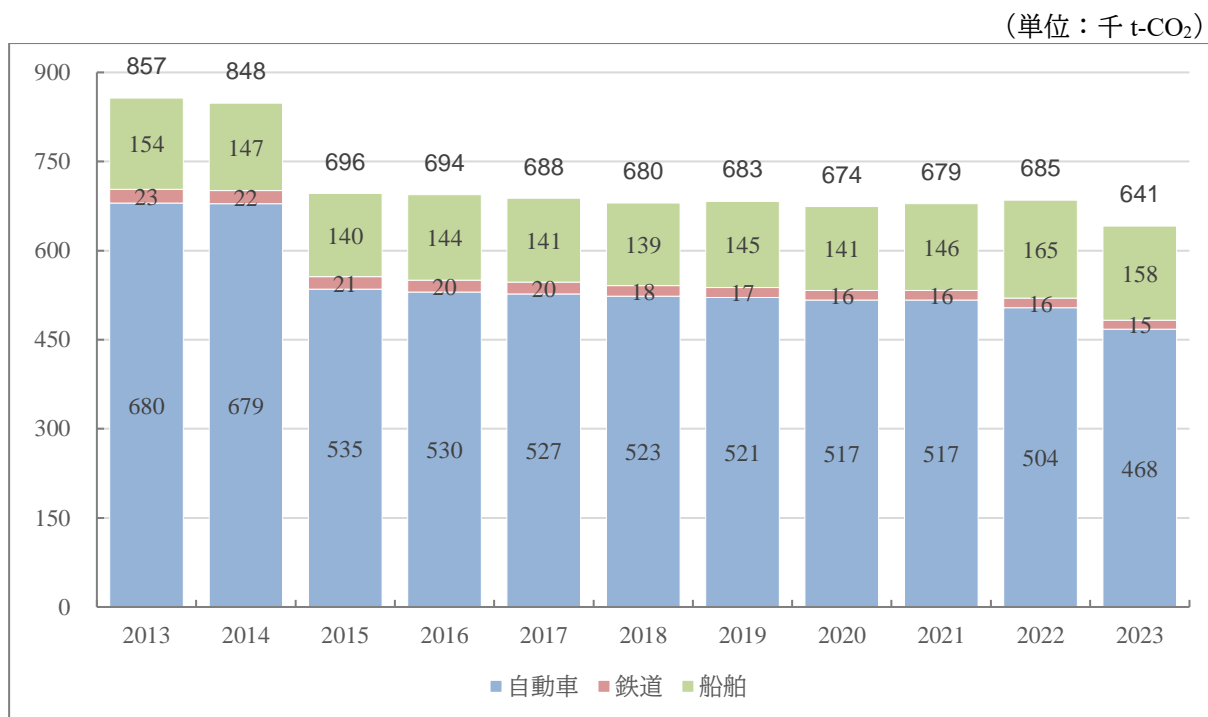


図 12 運輸部門の温室効果ガス排出量の推移

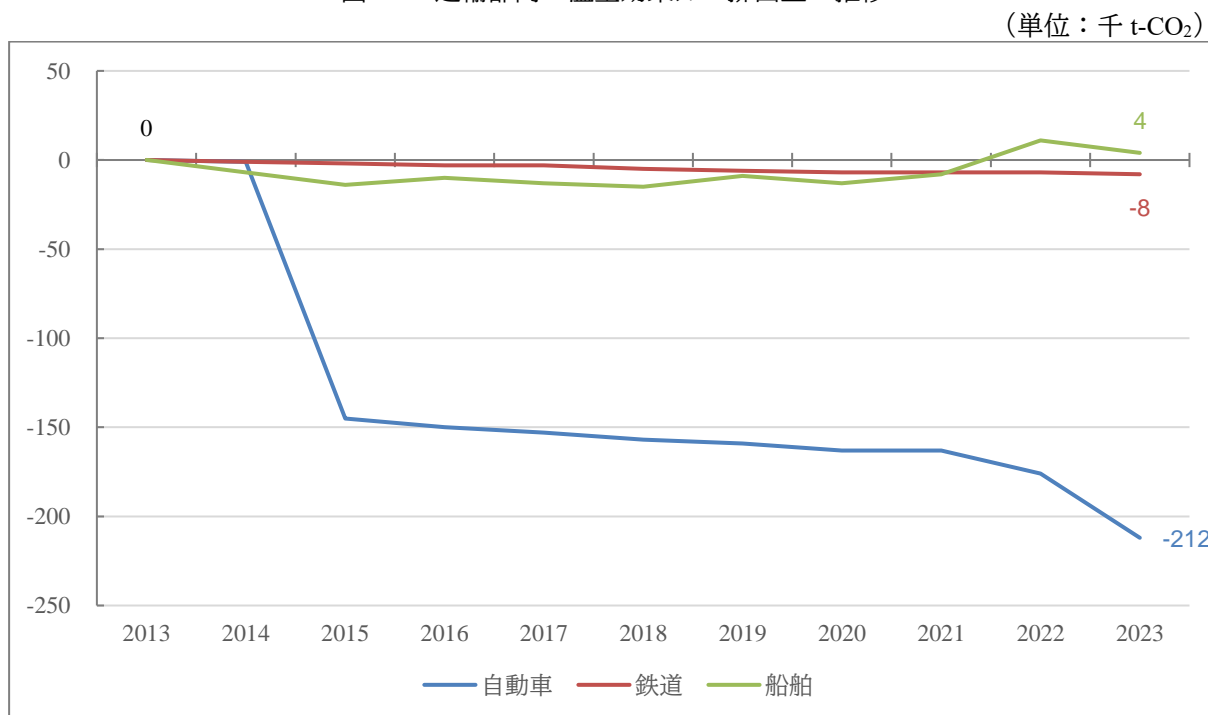


図 13 運輸部門の温室効果ガス排出量の増減（2013 年基準）

## 2.5 廃棄物部門

- ▷ 2023（令和5）年度の温室効果ガス排出量は51千t-CO<sub>2</sub>であり、基準年度である2013（平成25）年度比では5千t-CO<sub>2</sub>（10.9%）増加しています。
- ▷ 年度間の増減がみられるものの概ね横ばいで推移しています。

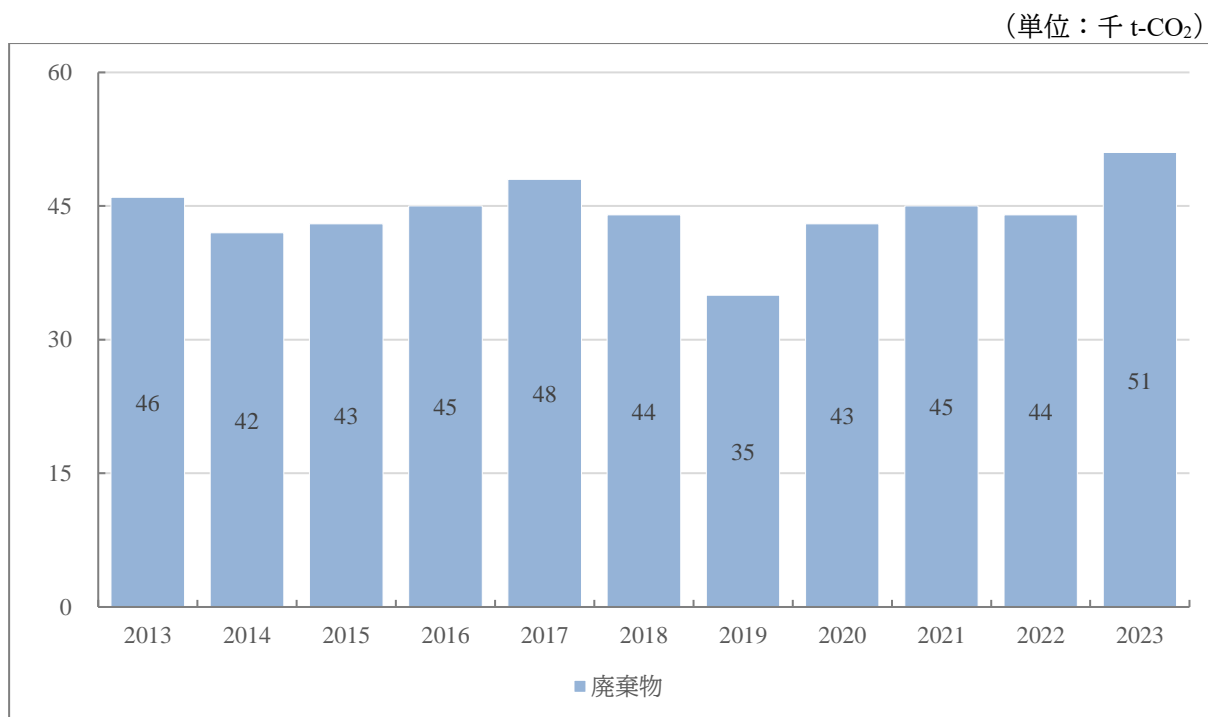


図 14 廃棄物部門の温室効果ガス排出量の推移

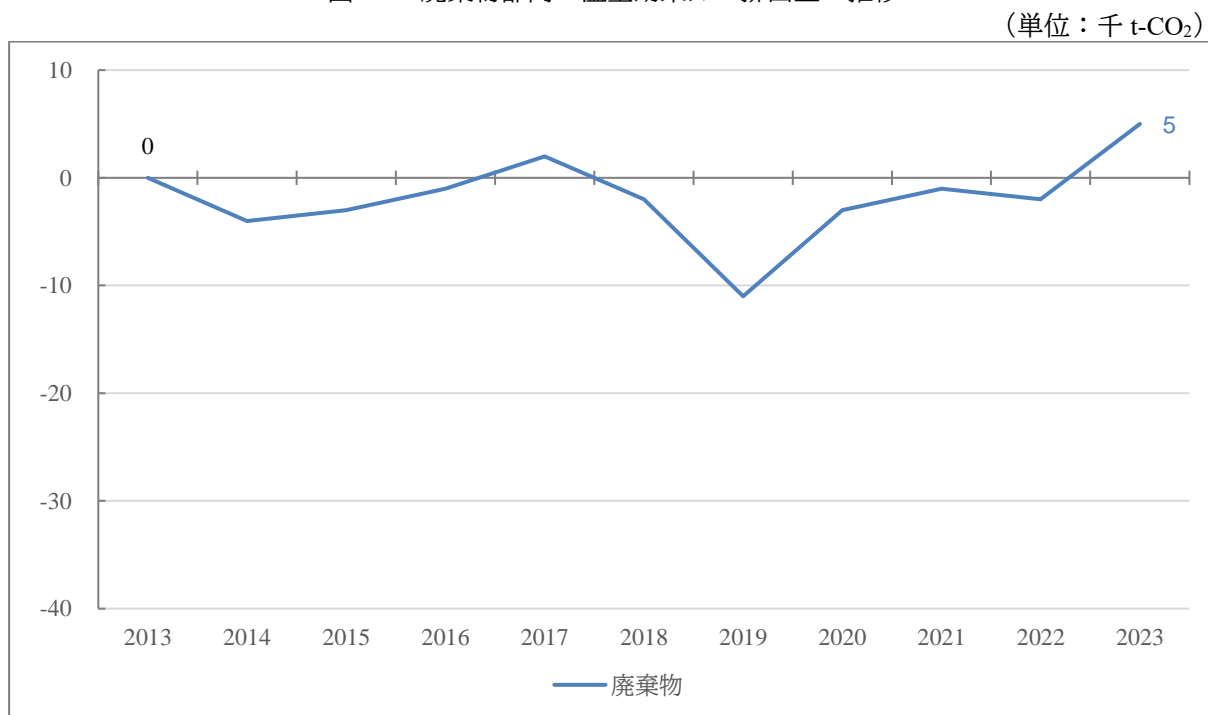


図 15 廃棄物部門の温室効果ガス排出量の増減（2013年基準）

## 2.6 その他の温室効果ガス

- ▷ メタン（CH<sub>4</sub>）及び一酸化二窒素（N<sub>2</sub>O）排出量は概ね横ばいで推移しています。
- ▷ 代替フロン類については、国により HFCs 排出量の推計方法が変更されており、従来の推計値とは前提条件が異なるため、過年度との単純比較は困難になりました。

(単位：千 t-CO<sub>2</sub>)

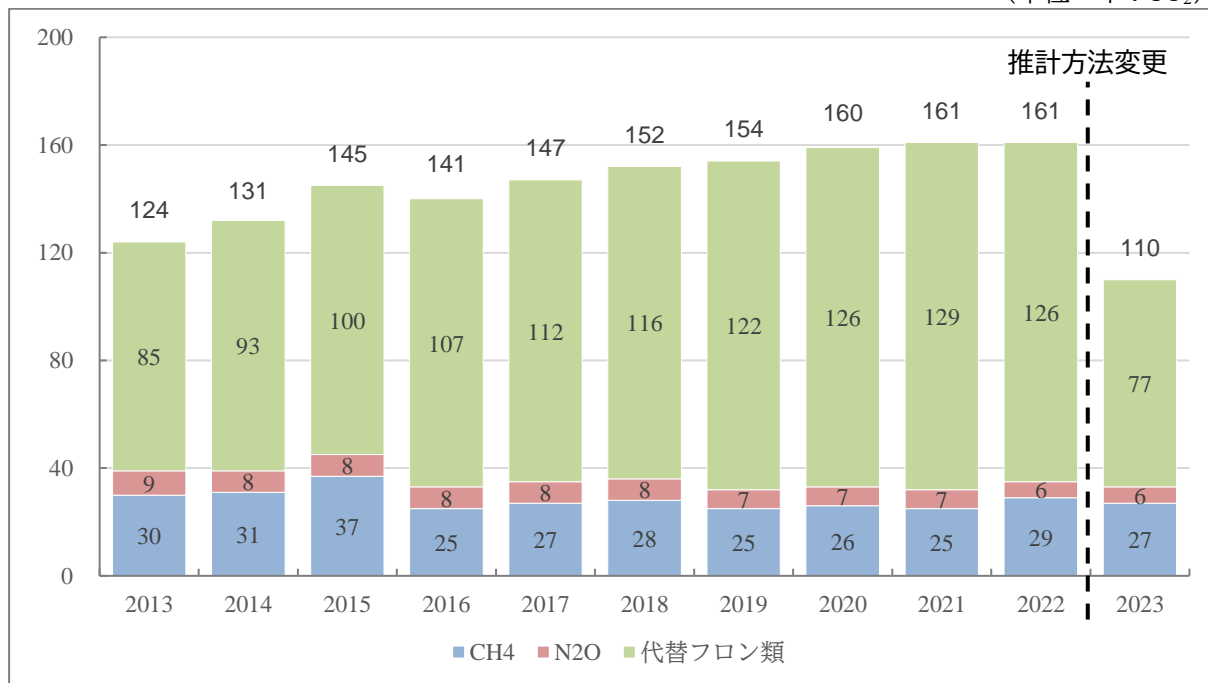


図 16 その他の温室効果ガスの排出量の推移

(単位：千 t-CO<sub>2</sub>)

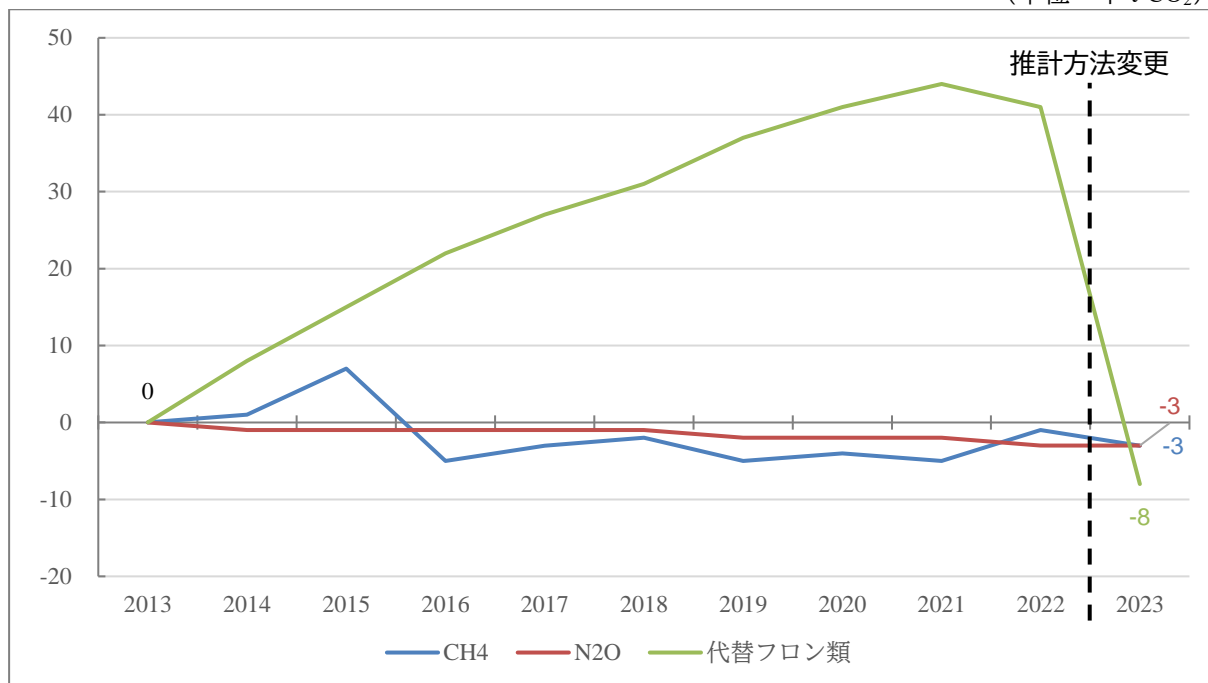


図 17 その他の温室効果ガスの排出量の増減（2013年基準）